10月20日　日曜日　晴れ

札内福祉センターと札内東コミュニティセンターで、札内子供会まつりがありました。縁日コーナーや紙芝居、缶バッチにくじ引き、遊びがいっぱいでした。ぼくはシャボン玉づくりに熱中しました。

市町村合併 ― 東十勝４町の新自治体の姿を推計

幕別・池田・豊頃・浦幌の合併で市に合併しても厳しい行財政運営は変らず

東十勝４町（幕別・池田・豊頃・浦幌）でつくる東十勝行財政検討会議はこのほど、４町が合併した場合の将来推計をまとめました。これは町村長で組織する「十勝町村行政のあり方検討会議」の中で、消防事務組合を構成する町村単位で協議を進めることとなり、４町の事務レベルで検討し、まとめたものです。合併特例法の適用を受けることを前提に、平成17年３月に東十勝４町が対等合併したと仮定し人口、財政、行政規模について、「新自治体の姿」を推計（想定）しています。その概要についてお知らせします。

広大になる行政面積

４町の合計面積は南北約90㎞、東西に約55㎞、１９７８・５３平方キロメートルで、大阪府を上回る面積になります。合計人口は４万３９９６人（平成12年国勢調査）で、市にはなりますが、広大な土地に市街地や集落が点在しているという状況です。

人口の半分以上が札内に

人口推計は各町のまちづくり計画上の目標ではなく、財団法人・統計情報研究開発センターが本年１月に公表した、市町村別将来推計人口により行っています。

推計によると幕別町は平成12年から平成32年までに約29％の人口増加が見込まれ、高齢者人口（65歳以上）の割合は平成32年には28％前後となっています。

これに対し他の３町では平成12年から32年の間に、豊頃町36％、池田町24％、浦幌町では42％も人口が減少すると推計され、特に高齢者人口の割合は３町ともに平成17年には約30％、平成32年には40％前後にも達すると推計されています。

東十勝４町の人口推計の合計では、平成12年から32年まで大きな増減は無く、幕別町の人口増加分と他の３町の人口減少分がほぼ同程度となり、人口規模的には現状維持と予想されています。（図１）

しかしこの結果は、幕別町札内地区に「新自治体」の全人口の半数以上が集中し、他地域では過疎化が一層加速することを示しているといえます。

図１　４町の合計人口の推移

人口や財政規模が類似する音更町をモデルに

財政は、４町がそれぞれ推計した財政推計を、平成13年度決算の一般財源比率で按分し、一般財源ベースにより推計しています。

自治体を運営する上で基本となる「経常一般財源（自由に使えるお金）」の収入推計を行い、基本となる「経常経費（人件費や公債費などの義務的経費および物件費、補助費など）にあてた一般財源を差し引くことにより、新自治体の「投資的経費（建設事業費など）にあてることができる一般財源を導き出しています。

また合併後は、現状の行政組織や財政規模を合併後の適正規模に近づけていくことが必要になります。そのため合併特例措置がなくなる平成32年度の人口や財政規模（推計）と類似する音更町をモデル自治体として想定し、比較することで、適正規模に近づけるために必要な削減額を推計しています。（表１）

合併後は、人件費・経常経費を削減

将来の財政規模を想定し、人件費や経常経費の削減を推計しています。

人件費は、議会議員や農業委員は、合併特例法による一定期間の在任特例（議員は合併後２年間、農業委員は次期選挙予定時期の平成17年７月まで）を適用し、その後は新自治体の法定数としています。

４町合計の普通会計職員は、平成13年６３６人ですが、合併当初の平成17年度は５９１人と見込まれ、モデルとした音更町の２８１人と比べ２・１倍であることから、新自治体に見合う適正な職員規模とする必要があります。

しかし当分の間、職員採用を行わないとすると、職員の年齢構成が極めていびつな状況となるため、退職者の補充として毎年４人の新規採用を行いながら平成32年には３３９人になるとしています。（表２・図２）これは合併後の支所機能や行政サービスなどは勘案せずに、あくまでも財政規模から見た場合の推計となっています。

また町３役やその他の各種委員の特別職は、合併後ただちに新たな体制に整理することとして、現在の４町合計数より１２３７人削減されると推計しています。（表３）

人件費を除く経常経費は、各費目の費用内容や合併後の条件設定などが複雑であるため個々の推計は行わず、合併後の適正財源規模にするための削減必要額を年間１億４千万と仮定し、推計しています。

表１　新自治体の推計と音更町との比較

	東十勝４町の合併	音更町
人口規模	44,616人（平成32年度推計）	39,201人（平成12年度国調）
地方交付税	約69億円（平成32年度推計）	約72億円（平成12年度実績）
地方税額	約40億円（平成32年度推計）	約38億円（平成12年度実績）
普通会計職員数	339人（平成32年度推計）	281人（平成12年度実績）
経常一般財源額（歳入）	約203億円（平成17年度推計）	約120億円（平成12年度実績）
	約125億円（平成32年度推計）	
経常的経費充当一般財源額（歳出）	約197億円（平成17年度推計）	約105億円（平成12年度実績）
	約125億円（平成32年度推計）	

表２　４町の職員数と音更町との比較（H13.4.1現在）

区分	幕別町	池田町	豊頃町	浦幌町	４町計	音更町	差
議会	4	3	3	2	12	5	7
総務	47	41	24	28	140	61	79
税務	10	8	5	7	30	19	11
民生	54	17	21	40	132	59	73
衛生	14	11	13	8	46	26	20
労働	1	0	1	0	2	0	2
農林水産	25	24	15	22	86	34	52
商工	4	4	2	3	13	5	8
土木	29	11	10	16	66	36	30
一般行政合計	188	119	94	126	527	245	282
教育	40	17	15	37	109	36	73
普通会計合計	228	136	109	163	636	281	355
病院	0	52	0	0	52	11	41
水道	6	6	3	4	19	10	9
下水道	5	4	3	2	14	9	5
その他	9	34	6	6	55	9	46
公営企業会計合計	20	96	12	12	140	39	101
合計	248	232	121	175	776	320	456

図２　普通会計職員数の推移　（人）

※合併した場合の職員数は、各町の退職見込者数と各年４名の新規採用者数を見込み推計
※幕別町単独での職員数は、財政規模に合った職員体制とするため、合併した場合と同じ考え方で推計（各年１名の新規採用者を見込む）

表３　特別職の現数と合併後の推計数

	合併前の状況（人数）					合併後推計数	削減人数
	幕別町	池田町	豊頃町	浦幌町	合計		
町長、助役、収入役	3	3	3	3	12	3	△ 9
教育長、教育委員	5	5	5	5	20	5	△ 15
町議会議員	25	18	14	16	73	30	△ 43
農業委員	20	18	16	15	69	30	△ 39
監査委員	1	1	1	1	4	2	△ 2
その他特別職（※）	764	528	430	544	2,266	933	△1,273

※　その他特別職とは、各種審議会、審査会、委員会等の委員を指す

収入

地方交付税は145億円から69億円に

新自治体の適正規模を想定する上で、最も大きく影響すると予想される地方交付税は、地方交付税の算定の特例により平成26年度までは、4町が単独で存続した場合と同水準と想定し、合併した平成17年度では約145億円が措置されると見込んでいます。しかし平成27年度以降は縮減し、平成32年には約69億円にまで減少すると推計しています。（図3）

現行の地方交付税制度が維持されると仮定し、推計していますが、現在、地方交付税制度の見直しが進められている中で、合併する・しないに関わらず、今後ますます縮減していくと予想されます。

地方交付税を含む経常一般財源（収入）は、合併当初の平成17年度は約203億円となり、新自治体のモデルとした音更町の約120億円と比較すると、約83億円も多い状況にあります。これが平成27年度には約174億円になり、（表1）合併特例終了後となる合併16年目の平成32年度には約125億円（音更町と比較し、5億円多い）にまで減少すると推計しています。

幕別町百年記念ホール　平成８年オープン
固定席800　図書館併設

池田町田園ホール　平成２年オープン　可動席586

図３　平成13年と合併後の交付税の推移

合併に向けた課題

■住民の声は届くのか

市町村合併のデメリットの一つに住民の意見が反映されにくくなるといわれますが、人口増加や面積の拡大というだけでは、きめ細かなサービスが行き届かなくなる理由にはなりません。行政施策の推進には、積極的な住民参加を必要とします。

住民と行政の協働によるまちづくりを進めるためには、情報公開は不可欠で、住民と行政の距離が遠ざからないように、支所機能の充実とともに、積極的な情報公開や広報広聴活動に努めなければなりません。

また合併前の役場本庁舎と支所は、合併後も支所として適正な職員配置と、これまで以上の機能の充実を図り、直接的な住民サービスの窓口として存続する必要があります。

■今までの行政サービスは

現在の住民サービスの水準が合併によって低下しないよう、現在の役場庁舎を支所として存続させ、保健センター、文化ホール、図書館、体育館等の施設についても、変わらず利用できる体制維持が必要になります。

地域（住民）限定される行政サービスは、公平性を確保するため適正な負担を求めなければならないので、受益者負担の基準を作る必要があります。既存の施設を有効に活用することで、距離的な問題を除けば利用しやすくなり、充実したサービス内容が期待できますが、財政面からは、より効率的な運営が求められます。

合併による規模の拡大と組織体制を効率化することで、専任職員や専門（有資格）職員を配置することができ、行政サービスの質の向上が期待されます。反面、職員数の適正化を図るためには、大幅な職員削減に努めなければなりません。

■使用料・負担金は

それぞれの町で異なる使用料や負担金は、原則的に統一する必要があります。将来的にも適正かどうかを慎重に検討し、安易に低料金の方へ統一することにはなりません。料金の差が大きく異なるものは、一定期間の経過措置（激変緩和）を設けながら統一していくことも検討しなければなりません。

支出

厳しい財政運営
平成40年度に累積収支はゼロに

合併当初にあたる平成17年度の支出規模（一般財源ベース）を約210億円と推計し、平成27年度には約158億円、平成32年度には138億円にまで減少すると推計しています。

単年度収支では合併当初に約8億円の赤字になり、平成20年度には一時黒字に転換するものの、地方交付税の合併特例の措置率が下がる平成30年度には約4億3000万円の赤字に転落し、合併24年後の平成40年度には累積収支がゼロになると推計しています。（図4）

経常的経費にあてる一般財源の合計額は、平成17年度に197億円と推計され、新自治体のモデルとした音更町の約105億円と比較すると約92億円の差があります。（表1）

この差額は合併後の収入規模に見合う経常経費とするために削減が必要な目標額といえます。平成32年度には約125億円に減少すると推計していますが、音更との比較ではまだ約20億円超過している状況になっています。（表1）

なお支出額の推計値には、前ページで示した人件費の推計による削減額（特別職で年間約6億円、一般職で年間1億5000万円から12億円（年ごとの退職者の違いにより変動））や、人件費以外の経常経費削減必要額（年間約1億4000万円）のほか、各町推計による単独収支の赤字分の解消も見込んでいるため、平成20年度から29年度までは単独収支で黒字になるとはいえ、削減必要額を考えると、厳しい財政運営が求められるといえます。

図４　合併後の財政推計

浦幌町コスミックホール
平成９年オープン
可動席208　商工会併設

豊頃町える夢館　平成14年オープン
可動席220　図書館併設

平成14年度上半期

予算執行状況

を

お知らせします

平成14年9月30日現在

平成14年度の上半期（4月～9月）予算執行状況がまとまりましたのでお知らせします。

ここでは、一般会計をはじめ特別会計、水道事業会計を含めた全会計をまとめてご紹介します。

お問い合わせは総務課財政係まで

電話　54－6608

一般会計

歳入

（単位：億円）

歳出

（単位：億円）

一時借入金の状況

（単位：万円）

一般会計		0
特別会計	国民健康保険会計	0
	老人保健会計	0
	介護保険会計	0
	簡易水道会計	0
	公共下水道会計	0
	公共用地取得会計	0
	個別排水処理会計	0
水道事業会計		0
合計		0

町で借りているお金

（単位：万円）

区分	金額
一般会計	2,065,770
国民健康保険会計	0
老人保健会計	0
介護保険会計	0
簡易水道会計	81,897
公共下水道会計	918,441
公共用地取得会計	17,200
個別排水処理会計	49,774
水道事業会計	258,399
合計	3,391,481

特別会計予算執行状況

（単位：万円、%）

区分	予算現額（前年度繰越含む）	歳入 収入済額	歳入 執行率	歳出 支出済額	歳出 執行率
国民健康保険会計	232,264	82,256	35.4%	86,293	37.2%
老人保健会計	269,870	111,948	41.5%	111,357	41.3%
介護保険特別会計	108,427	39,595	36.5%	41,275	38.1%
簡易水道会計	15,519	5,800	37.4%	5,837	37.6%
公共下水道会計	171,784	76,943	44.8%	73,477	42.8%
公共用地取得会計	392	10	2.6%	189	48.2%
個別排水処理会計	17,035	5,124	30.1%	5,078	29.8%

町税の状況

（単位：万円、%）

区分	予算額	調定済額	収入済額	収納率
1.町民税	90,139	97,952	39,181	40.0%
2.固定資産税	100,109	119,351	56,481	47.3%
3.軽自動車税	3,132	3,512	3,017	85.9%
4.町たばこ税	14,774	8,008	8,006	100.0%
5.入湯税	908	430	430	100.0%
6.特別土地保有税	19	706	41	5.8%
合計	209,081	229,959	107,156	46.6%

分担金負担金等の内訳

（単位：万円）

	予算	収入済額	執行率
分担金及び負担金	18,791	4,968	26.4%
使用料及び手数料	19,317	8,929	46.2%
寄付金	403	65	16.1%
繰越金	3,919	5,202	132.7%

地方譲与税等の内訳

（単位：万円）

	予算	収入済額	執行率
地方譲与税	25,000	8,151	32.6%
利子割交付金	3,000	1,343	44.8%
地方消費税交付金	18,000	11,631	64.6%
ゴルフ場利用税交付金	4,000	1,689	42.2%
自動車取得税交付金	10,000	3,002	30.0%
国有提供施設等所在市町村交付金	20	0	0.0%
交通安全対策特別交付金	600	312	52.0%
地方特例交付金	6,800	8,134	119.6%

水道事業業務報告

（単位：万円、%）

給水人口　20,541 人　　総給水量　1,205 千㎥

項目		予算額	執行額	執行率
収益的	収入	46,773	19,055	40.7%
	支出	54,217	14,879	27.4%
資本的	収入	20,440	228	1.1%
	支出	36,227	11,905	32.9%

財産の状況

・土地建物　（単位：㎡）

区分	土地	建物
行政財産	10,941,960	172,580
普通財産	263,491	2,207
合計	11,205,451	174,787

・有価証券　6,015万円

・出資による権利　80,874万円

基金

（単位：万円）

区分		残高
国民健康保険基金		0
介護給付費準備基金		5,570
奨学資金積立基金		2,011
財政調整基金		60,300
土地開発基金	現金	38,334
	土地	10,251
勤労者生活資金貸付基金		447
小規模企業振興資金貸付基金		614
教育施設建設基金		882
減債基金		95,173
福祉推進基金		43,070
代替輸送確保対策事業基金		0
図書館図書整備基金		6,400
ふるさと創生事業基金		10,000
河川緑化整備事業基金		13,802
酪農振興基金		7,148
合計	現金	283,751
	不動産	10,251

本年度取り組んでいる主な事業は次のとおりです。

- 稲志別近隣センターの建替
- 札内東コミュニティセンター外構工事
- 鉄南・途別ふれあい交流館の建設
- パソコン講習会の開催
- 小学校への教育活動指導助手の配置
- 明野ヶ丘スキー場リフト建設
- 農業担い手総合情報センターの建設
- 旭町西団地公営住宅建設
- コミュニティバス実験運行
- 若草南公園建設
- 農用地排水対策支援

今年で25回目の『まくべつ産業まつり』今までの歴史を振り返ってみましょう

１万円見事ゲット

上空からの会場風景

産業まつりが四半世紀を迎えました

25回目を迎えた産業まつり、今回に至るまで色々な催しが行われました。そこで、今までの歴史を探ってみました。

まつりのきっかけ

昭和51年の幕別町開基80年を記念して10月1日から3日までの間、記念式典のほか各種行事が開催されました。そのうちの一つ、国民宿舎幕別温泉ホテル前の広場で地元産の野菜、牛肉のほか秋味の即売会、「鯉のつかみどり」が開催され大変賑わったそうです。

この催しが後に「まくべつ産業まつり」を開催するきっかけになったそうです。

記念すべき第1回

幕別観光協会が主催する、第1回「まくべつ産業まつり」が国民宿舎幕別温泉ホテル前広場で開催されたのは、昭和53年10月8日です。参加者は町内外から6000人が集まり、開拓時代から糠内に伝わる獅子舞が特別参加してまつりに華を添えました。

第1回の呼びものは

会場では、地元産の安い野菜に人気が集まり、呼びものの「鯉のつかみどり」には800人の老若男女が挑戦して途別産の鯉を追いかけては笑いを誘ったそうです。町営牧場産の黒毛和種の牛肉が市価の半値とあって、あっという間に売り切れとなりました。

特設会場ではカラオケのど自慢大会、子ども相撲が開催され、多くの人が参加しました。

第5回で来場者2万人

この年の人出は、過去最高の2万人を記録。会場では、鯉のつかみどりに長蛇の列、綱引き選手権、新型農機具の展示も行っていました。

第10回はポテトステーキ

長さ30　の鉄板で焼くポテトステーキや鯉のつかみどりが人気を集めました。

千葉紘子歌謡ショーに幕別が生んだスター長谷教亨さんの歌謡ショーもありました。

第15回は羊の丸焼き

会場は依田公園、天地真理の歌謡ショー、女子カボチャ投げ大会、幕別産サフォーク羊の丸焼き、この頃は、ふるさと館まつりも併せて開催していました。

第20回から会場を移動

この年から、会場を百年記念ホール前に移して開催。会場ではゴミの分別収集を行いました。

岸千恵子、品川知子歌謡ショー、マシュマロキャッチャー、女子尻相撲大会など収穫の秋を満喫しました。

第25回

早朝から地場野菜を求めて大勢の人が、詰め掛けました。

門倉有希歌謡ショー、嶋淳一ものまねショー、札内中学校吹奏楽部演奏会に観客が惜しみない拍手を送りました。

キャッチャーゲームやかけ引きゲーム、女子カボチャ投げに大勢の観客が参加しました。

門倉有希歌謡ショー

女子カボチャ投げ大会の入賞者

ステージを見つめる観客

シリーズよくわかる Vol.28

介護保険

～介護保険サービス（在宅サービスについて）～

先月号では、介護サービスを利用するために必要な手続きについて説明いたしました。

それでは、実際に介護サービスにはどのようなものがあるのでしょうか。

介護サービスには大きく分けて在宅サービスと施設サービスがあります。今月は在宅サービスの主なものについてご説明します。

【ご自宅で受けられるサービス】

●訪問介護（ホームヘルプ）

家庭をホームヘルパーが訪問して、入浴、排せつ、食事等の身体介護、調理、洗濯、掃除等の家事援助などを行います。

●訪問入浴介護

簡易浴槽を積んだ移動入浴車などで家庭を訪問して、入浴の介護を行います。

●訪問看護

病状の安定期にある方の家庭を訪問し、看護師または保健師等により療養上のお世話や必要な診療の補助を行います。

【施設に通所して受けられるサービス】

●通所介護（デイサービス）

●通所リハビリテーション

送迎により、デイサービスセンターや老人保健施設などで入浴や食事の提供、生活などに関する相談・助言、健康状態の確認、その他日常生活のお世話、機能訓練を行います。

●短期入所生活介護（ショートステイサービス）

●短期入所療養介護

特別養護老人ホームや老人保健施設などに短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などその他必要な日常生活上のお世話や機能訓練を行います。

【その他の在宅サービス】

●福祉用具の貸与

心身の機能が低下し日常生活に支障のある方に、日常生活上の便宜や機能訓練のため福祉用具の貸し出しを行います。

●福祉用具購入費の支給

入浴や排せつに用いる福祉用具を購入したとき、償還払い（購入時にいったん全額を事業者に支払い、後ほど領収書を添付して申請することにより町から９割が払い戻されること）で支給されます。ただし、同一年度で購入できる利用限度額は10万円です。

《対象となる福祉用具》

①腰掛便座
②特殊尿器
③入浴補助用具
④簡易浴槽
⑤移動用リフトのつり具の部分

●住宅改修費の支給

手すりの取付け等の住宅改修を行ったとき、償還払いで支給されます。ただし、利用限度額は同一住宅で20万円です。

《対象となる住宅改修》

①手すりの取付け
②段差の解消
③滑りの防止・移動の円滑化等のための床材の変更
④引き戸等への扉の取替え
⑤洋式便器等への便器の取替え
⑥①～⑤に付帯する住宅改修

このほかに在宅サービスとして、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、痴呆対応型共同生活介護（痴呆性老人グループホーム）、特定入所者生活介護などがあります。

次回は、施設サービスにはどのようなものがあるのか説明いたします。

～介護保険外の福祉サービス紹介～

「外出支援サービス」

65歳以上のひとり暮らしの高齢者の方などで、身体が虚弱なため公共交通機関の利用が困難な方に対してワゴン車で、また、歩行が困難であり通常の車両による移動が不可能な方に対してリフト付ワゴン車で、医療機関等への外出を支援しています。

【申し込み・詳細は保健福祉センター高齢者福祉係】

お問い合わせは…保健福祉センター介護保険係まで（0155－54－3811）

まちのニュース

公区・サークルの活動などを企画室に連絡ください

お体を大事に長生きを 大西ミヨシさんが満百歳

9/26

明治35年生まれで依田に在住（新得町出身）の大西さんが9月4日、満百歳を迎えられました。

町内で百歳を超える御長寿の方は6人で、大西さんは6番目の長寿者。

最近になって体調を崩され札内の特別養護老人ホームに入所しているため、ホーム内でのお祝いとなりました。

この日は、岡田町長が養護老人ホームを訪れ、「お体を大事に長生きしてくださいね」とご家族の方へ町からの記念品を贈りました。

しらかば大学で英語指導助手のダニエルさんの文化講話開催

9/30

ウール100%の民族衣装「キルト」に身を包んだダニエルさん。「決してスカートではありません」

町の高齢者学級「しらかば大学」で町の英語指導助手であるトムソン・ダニエルさんによる文化講話が9月30日、町民会館で行われました。

出身地であるスコットランドの民族衣装に身を包んで登場したダニエルさんは、スコットランドの気候や文化などを、スライドを交えながら紹介しました。

また、日本に来て最初に、ラーメンをすする食べ方に驚いたことや〝おじぎ〟の動作に感じたことなど、文化・習慣の違いをユーモアたっぷりに話していました。

台風21号の強風により 白人神社で倒木

10/2

地神碑のすぐ横に倒れたニレの木

10月としては23年ぶりに北海道に上陸した台風21号の強風により、10月2日の早朝に幕別町では大量の風倒木が発生しました。

白人神社では、この強風のために樹齢150年前後のニレやヤチダモの木が約10本倒れました。境内の樹木のなかには「十勝名木百選」に選ばれたヤチダモ群やササの自生地があります。倒木を発見した同神社顧問の磯部判治さんは「非常にショックを受けています。木が地神碑などをよけるように倒れているのは不思議です」と語り、被害の大きさに落胆していました。

日本赤十字社による 救急法の講習会が開催

9/28～10/6

最終日には学科・実技の検定が行われ、合格者に救急法救急員の認定証が発行されました

思いがけない事故や病気から自分自身を守る知識と技術を習得できる、赤十字救急法救急員養成講習会が9月28日・29日と10月5日・6日の4日間、札内スポーツセンターを会場に行われました。

この講習会は十勝管内では帯広市などで年に数回行われていて、今回幕別町で初めて開催されました。

町内外から参加した27人の方々は心肺蘇生法や止血、包帯の巻き方など応急手当の方法を学びました。

ボランティアで講師を務めた帯広市救急法赤十字奉仕団の相馬哲副委員長は「最近は高校生などの関心も高いようです」と話していました。

健康を肌で感じよう 第2回町民見学会を開催

10/2

トレセンでは筋力・柔軟性・平衡感覚などを測定し、体力年齢を知る体力測定を体験しました

町内の体育施設を見学・体験して、健康に対する理解を深めていただこうと、台風一過の10月2日に町民見学会を開催しました。

今回は14年度からトレーニング指導員を置いた農業者トレーニングセンター、札内スポーツセンターと8月にオープンした若草南公園といなほ公園を見学しました。

札内スポーツセンターではトレーニング指導員が行っている健康講座の見学やトレーニング器具の実体験などをしました。

参加した19人の方々は、指導員のアドバイスを受けながら心地よい汗を流していました。

幕別産の新そばを楽しむ 第2回まくべつ手打ちそばまつり開催

10/20

幕別産のそばを多くの人に味わってもらおうと、新そばを使った「第2回まくべつ手打ちそばまつり」（実行委員会主催）が10月20日に開催されました。

このまつりは、幕別産のそばを広くアピールしようと15年前に町内のそば愛好家が結成した「男の料理会」が中心となり企画されました。

当日は天候にも恵まれ、大勢の家族連れなどが来場し、用意された4種類（鳥だし、きのこ、ごぼう、大根おろし）のそば4000食は、とぶように売れ、来場者はお腹いっぱい幕別産の新そばを楽しんでいました。

輝いています シリーズ㊹

人 HITO

God helps those who help themselves
（神は自ら助くるものを助く）

アブラハム・リーさん
（札内春日町）

あぶらはむ・りー／1963年韓国ソウルに生れる。1983年ソウル中央大学校２年のときにアメリカへ移民。同年、せき髄損傷により障害を負う。1990年までアメリカの大学・大学院で勉学に励む。その後ハワイ、南カリフォルニアで仕事をし、1997年に来日。ＩＴ関連の仕事に従事する。幕別町には1999年から住居を構えている。ハワイで留学中の奥さんと知り合い結婚。現在は小学生の息子さんと３人暮らし。

今月は、自らも障害者で、今年の8月から町の障害者福祉計画策定委員を務められているアブラハム・リーさんにお話を聞きました。

・・・

みんなの広場

このページではみなさんからのお便りや取材で聞いた意見・作品などを紹介しています。

ちょっと一言

先日、灰皿のタバコを道の真ん中に捨てている車を見ました。けっこう人通りの多めな道路です。私は、不快な気分になると同時に「なぜ、こんな所に捨てていくのだろう」と不思議に思いました。

道の真ん中に捨てていかなくても、ガソリンスタンドなどに行った時に捨ててもらえばよいと思うのです。

たばこに限らず、コンビニの駐車場などでもゴミが放置されているのをしばしば見かけます。すぐそばにゴミ箱があるのに、なぜゴミ箱に捨てていかないのでしょう。

捨てられたゴミはその後どうなるのかを良く考えてから行動してほしいと思いました。

（PN・麻倉あんな）

今月からクマゲラ号が運行しましたが、普段車を利用していますが、一度乗ってみようと思います。

（坂本展子）

近くに「ヘレン・ケラー記念塔」という建物があるのですが、あれは何のために建てられたのですか？

（PN・オメガ）

…栄地区にそびえ立つ塔の正式名は「星山（せいざん）荘　ヘレン・ケラー記念塔」といい、視覚障害者への情報提供活動を続け、帯広市内で北海点字図書館を運営する、社会福祉法人ほくてんが建物を所有しています。

ほくてんでは、この施設周辺の林を十勝圏域における社会福祉事業の拠点として整備を計画（とかち体感の森整備計画）しています。

この敷地では、障害者および健常者が、十勝の豊かな自然環境との触れ合いや、お互いの交流を通して、豊かな心を育てることを目的としています。

展望台である星山荘の内部は、「見えない」ということはどういうことなのかを考えたり、視覚に頼りすぎている日常生活で他の感覚（五感）の機能を復活し、五感で空間を体験できるように設計されています。

視覚障害者に限らず健常者に対するプログラムを実施する計画ですが、「自然を体感する」という趣旨から、視覚障害者にとっては特に有意義であると思われます。運用開始の時期は、現時点では、未定とのことでした。（企画室企画情報担当）

さあ、問題だよぉ！

広報クイズ 187

Q．幕別の秋の恒例イベントである「産業まつり」は今年で何回目？

①１０回目
②２５回目
③５０回目

【応募方法】
はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢と、ご意見、ご要望などを書き添えてください。

【あて先】
〒０８９－０６９２
幕別町本町１３０番地
幕別町役場企画室

【締め切り】
１１月１５日（消印有効）

【前回の当選者】
応募総数は25通でした。先月号の正解は①で、当選者はＰＮ.Ｆ・Ｍさん、三井徹さん、ＰＮ.ゆっ子さん、猪原友香さん、先崎美奈子さんです。

【毎月5人に図書券をプレゼント】

わたしのアトリエ

青山加津子さん
（春日町）

パステル画

このコーナーでは絵画や手芸、陶芸品など、みなさんの力作を紹介します。

学生の頃より絵に興味を持っていました。３年前に、知人との再会をきっかけにパステル画のサークルに入り本格的に始めました。パステル画は油絵と違って修正がきかないので、色の組み合わせを考えながら色を入れるのが難しいです。これからは、風景画など色々なものを描いて楽しみたいです。

梅田　瑛子さん
（春日町）

▲油　絵

父が美術の教師ということもあってもともと興味はありました。13年前に絵画講座に参加したのをきっかけに本格的に始めました。サークルの仲間から学ぶことと、絵で行き詰まった時のアドバイスがうれしいです。最近では、水彩画の仕上げの難しさを実感しています。

わたしのイラスト

ＰＮ．けいたろう

青田　華子

青田　桃子

ＰＮ．玄武

ＰＮ．ニートンandふーみんの友人

ＰＮ．成原　翠玉

ＰＮ．月華

わが家のアイドル

須貝（すがい）　柊花（しゅうか）ちゃん（駒畠）
平成13年11月24日生　パパ拓也さん　ママ愛さん

お風呂あがりに大好きなトマトジュースをパパと一緒に飲むのがとっても楽しみな柊花です。

募集内容

来月は平成13年12月生まれのお子さんです。11月15日（消印有効）までに写真（デジカメ可）と20字程度のコメント、住所、氏名（パパとママも）、性別、生年月日を企画室企画情報担当までお寄せください。なお写真はお返ししませんので、ご了承願います。
（E-mail：yakuba@makubetsu.jp）

コミュニティ助成金で太鼓を購入

幕別文化倶楽部では、このほど財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を受け、桶胴太鼓1基と宮太鼓2基を購入しました。

この事業は、同センターが全国自治宝くじ普及広報事業費として受け入れる、宝くじ受託事業収入を財源として、住民の行うコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行われているものです。

会では、毎月3回の例会を行い、各種記念行事、イベントに参加、「豊穣太鼓」を披露しています。

今回の購入でさらにコミュニティ活動の推進が期待されます。

肩こりを感じる方へ　首や肩の周辺をほぐす体操

日常生活の中で同じ姿勢が長い時間続いている方、首や肩の筋肉を普段あまり動かしていない方、あなたは「肩こり」に悩んでいませんか？

今回は肩の周辺を動かして、血行を良くする体操を紹介します。肩が張ってきたな、と思ったときに試してみませんか？体の力を抜いてリラックスしながら行いましょう。また、腕を振って歩くのも効果的です。

１．首の運動〔目安の回数　５～10回〕

首の動作は、力を入れたり反動をつけると首筋を痛めてしまうので、肩の力を抜いて筋肉をじわ～っと伸ばす感じを意識し、ゆっくりと行うことが大切です。

●左右へ曲げる

●前へ曲げる

●左右横を向く

２．肩の運動〔目安の回数　10～15回〕

頭と両腕を支えている肩は、体の中でも負担がかかりやすい部分といえます。普段腕や肩をあまり動かしていない方は、無理しない程度にゆっくり動かしてみましょう。呼吸も自然に、肩もらく～に動かすことが大切です。

●指先を肩に軽くつけて、肩を外側・内側に大きくまわす

●手の指を組み頭の上または後ろにのせる。ひじをじわ～っと開いてゆっくり閉じる

数字でみる わたしの町

▶第46回◀
610号

広報まくべつの歴史

町では、まちの動きを住民の皆さんにおしらせする手段として広報紙を発行しています。

広報「幕別だより」第1号を発行したのは昭和27年5月15日で、タブロイド版（普通の新聞紙の約半分の大きさ）の2ページでした。

その後、101号（昭和35年2月）から255号（昭和46年12月）まではB5版、256号（昭和47年1月）からは現在のA4版となり今月号で610号となりました。

「おしらせ」は昭和46年9月からスタートし、今年の11月1日号で732号となりました。

広報の記事は当初、町からのおしらせや呼びかけがほとんどでしたが、次第に住民の登場や町の話題などがシリーズ化して、写真も多く使われるようになってきました。

来年1月から新しい広報紙に

町では来年1月から広報・おしらせ・スワディを一本化し、新たな広報紙をスタートさせます。

月1回の発行となりますが、ただ内容を合わせたものではなく、より充実した紙面を目指し、努力していきます。新広報の内容は、来月号で紹介します。

こちら編集室です

昭和27年にスタートした町の広報は今年50年目と節目の年を迎えました。

同じ年、郷土の実情に合った教育行政を行うためにと、全国の市町村に教育委員会が設けられることになりました。幕別町では、この年の11月に教育委員会が発足しました。当時の広報「幕別だより」でも、新しくできた教育委員会についてお知らせしています。

教育委員会では現在、学校協議員制度のモデル実施やジュニアサタデースクールをスタートさせるなど、地域色豊かな教育を実践しています。

昭和27年には、戦後マンガ界のヒーロー「鉄腕アトム」が少年誌で連載をスタートさせています。この漫画に夢を抱いた子供達も今や地域・社会を支える中心の世代となっているのでは。今度は皆さんが地域・社会の一員として子供達に夢を与える番ですね。

武田・石田

人の動き《平成14年9月末日現在》

人　口	25,417人	（－　8人）
男	12,189人	（－　4人）
女	13,228人	（－　4人）
世帯数	9,665戸	（＋　3戸）

広報まくべつ　2002年11月号
■発行　幕別町
■編集　企画室

（〒089-0692 北海道中川郡幕別町本町130番地
TEL 0155-54-6610　FAX 0155-54-3727）
ホームページアドレス http://www.makubetsu.jp/
Eメール yakuba@makubetsu.jp